



2016年3月30日

各 位

会 社 名 : 小野薬品工業株式会社
代表者名 : 代表取締役社長 相 良 暁
(コード番号 4528 東証一部)
問合せ先 : 広報部長 谷 幸 雄
TEL 06-6263-5670 (代表)

参天製薬株式会社と

FP/EP3 デュアル作動薬「ONO-9054」に関するライセンス契約を締結

小野薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：相良暁、以下「小野薬品」）は、参天製薬株式会社（本社：大阪府、代表取締役社長：黒川明、以下「参天製薬」）と、小野薬品が創製し、現在緑内障・高眼圧症を対象に開発中の FP/EP3 デュアル作動薬 ONO-9054 について、全世界において眼科用眼局所製剤を独占的に製造・開発・販売する権利を参天製薬に導出するライセンス契約を 2016年3月30日付で締結しましたのでお知らせします。

今回のライセンス契約に伴い、小野薬品は参天製薬より、契約一時金を受け取ります。また、小野薬品は開発の進捗および売上高に応じてマイルストーンおよび上市後は売上高に応じたロイヤリティを受け取ります。

ONO-9054 は 1 日 1 回投与の点眼剤で、FP 作動作用に加え、EP3 作動作用を有する新規メカニズムのプロスタグランジン系治療薬であり、FP 作動薬よりも強い眼圧下降作用が期待されます。既に緑内障・高眼圧症を対象とした米国第 II 相試験を終了しており、今後参天製薬が全世界での製造販売承認取得を目指し開発を進める予定です。

なお、本件による、今期の通期業績に対する修正は予定しておりません。

FP/EP3 デュアル作動薬について

FP 受容体と EP3 受容体はそれぞれプロスタグランジン受容体です。FP 受容体および EP3 受容体への作動作用は、眼圧下降への関与が報告されていることから、FP/EP3 デュアル作動薬が緑内障に対する新たな治療の選択肢を提供することが期待されます。

緑内障について

緑内障は、視神経（視覚情報を脳へ送る目の神経）が障害を受け、徐々に視野が狭くなっていく病気です。視神経に障害がおきる主な原因は眼圧の上昇とされており、眼圧を下げることで視機能の維持に最も有効な治療法とされています。日本人では、眼圧が正常の範囲であるにもかかわらず、緑内障の症状が起こる「正常眼圧緑内障（NTG）」という種類の緑内障が7割を占めると言われています。NTG も眼圧を下げることで病気の進行を遅らせることができます。

小野薬品について

小野薬品は、日本の大阪市に本社を置き、特定領域における革新的な医薬品の創薬に取り組む研究開発型の製薬企業です。がん領域と糖尿病領域を重点領域として活動しています。

詳細については、<http://www.ono.co.jp/> をご覧ください。

参天製薬について

参天製薬は、眼科に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、医薬品の研究、開発、販売・マーケティング活動を行っています。世界 50 か国以上で製品を販売しており、国内の医療用眼科薬市場においては No.1 のシェアを有しています。今後も眼科領域におけるリーディング・カンパニーとして、未充足ニーズを満たす価値ある製品・サービスの提供を通じて、社会への貢献を果たしてまいります。詳細については、当社ホームページ www.santen.co.jp をご参照ください。

以上